

平成23年11月18日

平成23年度「佐原高校の教育を語る会」記録

時間：13:30～16:30

会場：本校会議室

主催：千葉県立佐原高等学校

開かれた学校づくり委員会

- 1 開会の言葉 (田辺芳広委員)
- 2 開かれた学校づくり委員会委員長あいさつ (佐藤勲委員長)
- 3 校長あいさつ
- 4 参会者紹介
紙面による紹介
- 5 本年度テーマ『佐原高校、明日への第一歩 ～120周年を見据えて～』
- 6 分科会
 - 第一分科会 (久保木善浩委員) 10年後の佐原高校を考える(継続)
 - 第二分科会 (佐藤 桂一委員) 地域連携(継続)
 - 第三分科会 (佐藤 勲委員長) 佐高の教育環境を考える(新規)
- 7 全体会(各分科会からの報告は次のとおり)
 - 第一分科会：10年後の佐原高校を考える(久保木委員)
 - ・「保護者の協力」をどのように強化していくかが焦点である。
 - ・そのため「保護者の心構えセミナー」(仮称)の開催を提案する。
進路選択など色々な面で、各家庭での応援が不可欠であるので、PTAの企画運営によるセミナーを行いたい。これには、同窓会組織が後援していくことによって、一過性のものでなく、継続性を持たせていく。
 - ・そのために、次回の開かれた学校づくり委員会までに、具体的にはどのようにしていったらよいか、土屋土屋智也教諭にたたき台の作成をお願いした。
 - 第二分科会：地域連携(佐藤委員)
 - ・佐原高校の現状は、「地域との連携が少し薄い」のではないかと。
 - ・連携の入口として住民への挨拶は、特に体育系部活の生徒はできているので、もっと広めていければいいのではないかと。
 - ・東日本大震災があったこともあり、災害時の高校と地域との連携をどうするか、佐原高校生として地域とどういう連携ができるか、など考えていかなければならない。
 - ・広い意味での地域連携とし、献血活動などの社会貢献をしていったらどうか。
 - ・朝夕の通学時のマナーや交通マナーに、苦情がきている現状があるが、通勤時間帯とも重なるので、地域と学校が一体となって改善していくようにする。
 - 第三分科会：佐高の教育環境を考える(佐藤委員長)
 - ・教育環境ハード面では、各教室にプロジェクタなどを備えつくと、より幅広授業展開ができるようになる。
 - ・準備室などを含めた、未設置特別教室へのエアコンの導入を考えていく。
 - ・コンピュータシステムも更新していければよいと思う。
 - ・上記については、県予算の問題もあるので、考えあわせて対応していきたい。
 - ・ソフト面については、授業や補習などで十分対応していただいている。
 - ・道徳教育については、人がどう生きるか、「よりよい生き方」について考える時間としてはいかがか。
 - ・道徳教育を進める中で、生徒の不得手な討論形式を取り入れていってみたいはいかがか。

まとめ 佐藤委員長

- 8 閉会の言葉 坂本 洋委員